

資料の特徴

「学校危機に関するシミュレーション訓練研修プログラム資料」

はじめに

本研修プログラムは、静岡大学教育学部小林朋子教授にご協力いただき、児童生徒の死亡のような学校危機において、教職員や市町教育委員会指導主事等が速やかにかつ適切に対応するためのスキル向上を目的に作成しました。シミュレーション訓練は、クライシスマネジメントだけでなく、リスクマネジメントの要素を取り入れ、学校危機を発生させないための予防的な視点から学校危機について考えられるように構成しています。また、3回の異なる学校危機に関するシミュレーション訓練を通して、状況に応じた対応につなげられるように配慮しています。

<シミュレーションの事例>

- 1 学校管理下で起きた死亡事故
- 2 いじめが背景にあると考えられる生徒の死亡事案(平成 27 年度掲載予定)
- 3 災害への対応(平成 28 年度掲載予定)

<使い方・方法>

資料には、研修の流れとシミュレーション訓練の事例、ワークシートがあります。市町教育委員会が実施する管理職研修や生徒指導研修等で活用できる資料と校内研修で活用できる資料の2種類があります。

研修会の持ち方等の詳しい情報は、それぞれの「学校危機に関するシミュレーション訓練の流れ及び事例」のファイルの最初に記載されています。

<事前準備>

- ・ グループ分け(5, 6人程度)
- ・ 付箋紙
- ・ 配布資料及びワークシートの印刷
- ・ ファシリテーター役が研修者に対して助言を行う際に必要な資料(文部科学省「緊急対応の手引き」等)